

FLORE21 ホットニュース

会長 小池潔のあれこれコラム

「止まらない円安が、価格高騰」

「フローレ」から「フローレ21」に社名を変え、新たなスタートをしたのは1989年12月だった。事業は世のバブル経済にのり花業界も順調に走っていた。

しかし1991年になると888件の倒産、さらに翌年は1079件の倒産。バブル経済の崩壊とその打撃の深刻さを多くの人が気づかされたのは92年だった。

幸い、花業界にとっては、世間の波が緩やかで、乗り切れた記憶がある。

10月20日の東京外国為替市場で、円相場は1ドル150円台前半に下落し、約32年ぶりの安値水準となりました。

しかし32年前と今回の状況は違います。米国の利上げが長期化するとの見方が強まっています。日銀は大規模金融緩和を維持している。

止まらない円安により、穀物や原油などの輸入品の価格高騰が進むことは当然です。

もちろん花も大きな影響を被るのは当然です。しかし1991年の「バブル経済の崩壊」とは違います、現在の株安も日本経済の先行きを見せているようです。

この数年は間違いない不況感が長期に渡って続いています。

1991年とは違う、日本の力が落ちている。

今の状況に立ち向かうために、自ら持っている力と知恵を一つにして、新しい道を見つけない。

OFLOの部屋

こんにちは！！大田店 福村です。

今回 私事ですが **母が石川県の地方新聞に載りました！！**

29年間小松空港で営業していた薬局を9月28日をもって閉店するという記事です。



私にとってはとっても大きなことで、空港では29年間ですが私が生まれたときからすでに実家で薬局をやってたんです。

足掛け50年以上…コロナの影響もありますが母が80歳になったのを機に閉店することになりました。

私にとって当たり前だった風景が無くなるのはとても寂しいです。
母は仕事が趣味だと思ってたので寂しい気持ちでいっぱいです。

調剤室でテレビ中継の終わった巨人戦を父とラジオで聞いたこと…大好きだった肝油をつまみ食いして怒られたこと…



風邪をひくといつも賞味期限切れの試供品を与えられたこと（そのトラウマか今でも薬はあまり飲みません）

私にとってのアイドルはミッキーマウスじゃなくてサトちゃんでした。

そんな母にお疲れ様と感謝を込めてお花を贈ることにしました。
今回お花をお願いしたのは新宿 NEWoMan にある『ew.note』さんです。

まずは入れたいお花と色味の希望を伝えました。

今回必ず入れて欲しいお花は



『感謝』の花言葉を持つ
ダリア バラ ガーベラ

『健康』の花言葉を持つマリーゴールド

これまでの感謝とこれからの楽しい未来へ



スタッフの大坪さんには「明るく華やかに」とお願いしました。



お花の到着に合わせて私もサプライズでその週末に
実家に帰りました。

「何しに帰ってきたの？」とびっくりしていましたが嬉
しそうな笑顔が見れてよかったです。

メッセージも直接渡しました。
涙でにじむはずがインクがにじんでしまい 大失態！！

それでも気持ちは通じたみたいで喜んでくれました。





今回色々な思いを込めて選んだお花
「花は人を幸せにする」
母の表情を見てまさにそう思いました。

花を通してたくさんの笑顔が咲きますように、これからも素敵なお花を届けます。

福村 紀子 80歳
これからの人生に幸あれ！！

大田店 福村

世田谷店おすすめ

国際基督教大学（ICU）湯浅八郎記念館に

「ICU 図書館所蔵 バンクス植物図譜 フェゴ島の植物」展
を見に行ってきました。

ICU図書館所蔵 **BANKS' FLORILEGIUM**

特別展 **バンクス植物図譜**
フェゴ島の植物 Plants from the Tierra del Fuego Section

2022.9.13 ~ 11.10

毎週火曜日・水曜日・木曜日（11月3日までのぞく）の13:00-17:00 事前予約制で開放します！
ご見学のご予約はこちらからお願いたします。（電話 0422-33-3340 からもお申込みいただけます）
https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/information.html

From September 13 (Tue) to November 10 (Thu), on Tuesdays, Wednesdays and Thursdays (13:00-17:00), the Yuasa Museum will welcome visitors with advance reservations.
Please book your VISIT here! https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/information_s.html



国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
ICU HACHIRO YUASA MEMORIAL MUSEUM

◆ 入館無料 ◆ https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/ ◆ e-mail: museum-office@icu.ac.jp ◆ ☎ 0422-33-3340 ◆

1982 年に開館した大学博物館で、湯浅八郎は ICU 初代学長です。

ということで、場所は三鷹にある国際基督教大学の敷地内にあります。



野川公園に隣接する大学敷地の大きさは、東京ドーム 13 個分にもなるそうで、正門から湯浅八郎記念館まで 800m くらいあるので、もし詳しい方であれば国際基督教大学高校の入り口から入った方が近いので、そちらからどうぞ。

バンクス植物図譜がどういうものかは、ホームページからの抜粋（下記）で説明します。

“『バンクス植物図譜』は、1768 年-1771 年のキャプテン・クックの第 1 回世界探検航海に科学班の責任者として同行したジョセフ・バンクス卿（1743-1820）の指揮により、寄港先で採集した植物標本と、画家に描かせたスケッチや水彩画をもとに制作された植物図譜です。

当初『バンクス植物図譜』は、バンクスらの帰国後に植物画（銅版画）と研究論文を合わせて出版が企画され、原版は全点制作されましたが諸般の事情により出版には至らず、その後原版制作から 200 年を経て、イギリスの出版社アレクト社と大英自然史博物館の協力によって 1980 年代に原版を用いた彩色版画が 100 セット限定で出版されました。”

植物学者ジョセフ・バンクス（Joseph Banks 1743 - 1820）は、航海から帰国してしばらく経った 1773 年、当時イギリスの王であったジョージ 3 世がロンドンのキュー植物園（Kew Gardens）の顧問にバンクスを任命し、バンクスは長年植物園の発展に尽力しました。

キャプテン・クックに比べると有名ではありませんが、オーストラリア（タスマニア）のバンクス海峡（Banks Strait）、シドニー郊外にあるバンクスタウン（Bankstown）、それにオーストラリアの原産のバンクシア（Banksia）の名前の由来になっています。

今回はフエゴ島の植物ということで、バンクシアの絵は展示してありませんでしたが、ネットで掲載されているものを見つけたので、掲載しておきます。





さて、今回入館時に学芸員の方に確認したところ、本展示（二階）の写真撮影は禁止となっていました。ということで一階に民芸品などと一緒に展示してあった上の写真以外は公式にアップしてあるものを使用させていただきました。

二階に上がると、正面に「バンクス植物図譜」と書かれたパネルがあり、その右側（写真切れている方向）に「はじめに」という紹介文のパネルがあります。

中は壁沿いに大体A2判くらいの大きさの紙に印刷された植物画が並んでいます。

日本の本に慣れたわれわれの目から見るとかなり大きく感じます。床に置かれたケース内も一枚分が展示されています。

最初に3年にわたる航海ルートと、今回の展示は南アメリカの最南端のフエゴ島の植物であることが説明してあります。



キャプテン・クックのエンデバー号には、多くの研究者が化学班として参加しました。

バンクスはスウェーデンの植物学者ダニエル・ソランダー、画家シドニー・パーキンソンなどを雇って船に乗り込み、各地で調査をおこないました。



当時は写真がないので、画家が描いた絵をもとに、銅版画職人が原盤制作し、それを印刷して本にしていました。

実際に近くで見ると非常に細かい線が描かれていて圧倒されます。

基本的に横に貼ってあるパネルには「イネ科」とか「アブラナ科」という表示で、実際の品名のようなものは書かれていません。

おそらく当時はまだ名前の付いていないものも多かったと思われます。

イギリスは植物の種類も少なく、南の大陸などの多種多様な植物に対して憧れのようなものをもっていたらしく、他のヨーロッパに比べても、新世界の植物に強い興味を持っていたようです。

なお、A2の紙にすべての植物が大きく描かれているわけではなく、右のように真ん中に小さく描かれているものもありました（スティリディウム科の植物）。



「バンクス植物図譜」展は 11 月 10 日まで行われています。

ただし、展示は事前予約制、毎週火曜・水曜・木曜の 13:00-17:00 の間となっています。料金は無料です。

館の受付に見終わった後声をかけると、普段は一般の人が入れないところの展示が見られたらしいのですが、自分は帰ってから公式ツイッターをみて知りました（残念）。訪問される方はお忘れなく。

世田谷店 前田

仕入れの素☆葛西店

葛西店の酒井希です。

日に日に冷え込み、天気も不安定な日が増えてきました。

10月14日（金）に静岡県稲取にある「フラワーファームつかさ」さんのカーネーションを見に行ってきました。



圃場は海拔300mの純高冷地で日が当たりやすい環境である為、他産地のカーネーションと比べて仕上がりが少し早いのが特徴だそうです。

今は来年の5月の母の日に向けて花の成長の調整と、来期の作付けのラインラップを考え中とのことです。

産地では、山田司さん、八代英樹さん、田村丞さんに、「カーネーションを長く楽しむ方法」を聞いてきました。

長持ちさせるには、

- ① 葉が水に付かないように取り除くこと
- ② 水の吸い上げがよい花なので水は多めに入れること
- ③ 水は毎日取り換え、花瓶や茎が又メ又メしてきたらしっかり洗うことが重要とのことです。



蕾が多い中、咲いているカーネーションを撮ってきました。↑ ↑ ↑

これから段々と開花していき、旬の時期の2月3月に向けて徐々に、バリエーションや出荷量が増えていくとのことです。
楽しみです。

葛西店 酒井

☆☆

株式会社 **FLORE21** <https://www.flore21.com>



<http://www.facebook.com/flore21.com>

<https://www.facebook.com/flore21jp/>



FLORE 21

世田谷店 Tel 03-5494-8700 Fax 03-5494-8701

大田店 Tel 03-5492-4124 Fax 03-5492-4127

葛西店 Tel 03-5659-8750 Fax 03-5659-8751

板橋店 Tel 03-6904-1813 Fax 03-6904-1814

☆☆